

1 研究主題, 研究内容等について

① 研究主題

「主体的に学び, 心豊かにたくましく生きる児童生徒の育成
～課題発見・解決学習と体験活動の推進を通して～」

② 主題設定の理由

学校教育の目標は, 児童生徒の自己実現に向けて, 知・徳・体のバランスのとれた人格の形成を促すことであり, 小学校教育では基礎・基本の学力の定着を図ることと豊かな心の育成が求められている。そのためには, 児童や教職員が落ち着いた学校生活を送り, その根底をなす積極的な生徒指導を学校教育の中心において推進する必要があると考える。

本校では, 生徒指導面では, あいさつ運動等の取組により, 学校だけでなく, 地域においても元気にあいさつができる児童が増えてきた。また, どの学年においても「黙々そうじ」が徹底しており, 落ち着いた学校生活を送ることができている。しかし, 児童間の共感的人間関係づくりには課題がある。学力面においては, 各教科で児童生徒の主体的な学びにつなげるため, 児童生徒が気付きの交流からめあてを設定して主体的に学び合いを深める授業づくりを推進し, 課題発見・解決学習に取り組んできた。特に, 児童にとって考えたい発問の工夫をしてきた。その結果, 基礎的・基本的な力は定着しつつあるといえる。しかし, 自分の考えを表現する力は課題として残っている。

また, 本中学校区においては, 授業改善や生徒指導を中心に連携して取組を進めてきた。その中で, 言語能力や主体性といった小中共通の課題が明らかになった。

これらのことから今年度も引き続き, 自ら進める授業づくりを推進し, 発問の工夫をすることにより課題発見・解決学習を進めていく。そのなかで, 言語活動を重視し, 接続詞などの語句を活用し, 相手を説得できるように根拠をもって説明する力を付けていく。また, GIGAスクール構想に基づき, ICT活用による学びの保障を進めていく。4月に配付されるタブレットを活用し, 個に応じたきめ細かい指導ができるようにしていく。さらに, タブレットを用いて, 個人の思考を深めること, 情報を共有して話し合いに生かすことが効率的にできるようにしていく。人と関わり合い, 学び合うことにICTを活用するため, 教師のICT活用指導力の向上を図る。そのために, ICT推進リーダーを中心に基本操作から研修し, 授業実践の中で活用していく。教師が教材研究やICT研修を深め, 単元のゴールを見据えることにより, 児童生徒が授業スタイルに沿って, 気付きの交流, めあての設定, ペアやグループでの学び合いを自ら進める授業づくりを推進し, 課題発見・解決学習を進めていきたいと考え, 研究主題を設定した。

③ 研究仮説

各教科における付けたい力を明確にし, 課題発見・解決学習につながる発問の工夫をし, 学び合いを深める授業づくりを推進すれば, 児童は主体的に学び, 確かな学力を身に付けることができるであろう。

④ 研究内容

- ア 教科等の本質に迫らせるための発問の工夫
- イ 気付きの交流から課題解決に見通しをもたせ, 学び合いにつなげる授業展開の工夫
- ウ 学び合いにおいて, 説明する力を育む言語活動の工夫
- エ 基礎的な学力を確実に身に付けさせるための個に応じた手立ての工夫
- オ ICTの授業実践への活用

⑤ 検証の指標

- ア 児童生徒意識調査 (小中一貫アンケート全学年)
- イ 「基礎・基本」定着状況調査質問紙 (5年)
- ウ 全国学力・学習状況調査 (6年)
- エ 標準学力調査 (1年～5年)
- オ Q-U 等
- カ 国語科・算数科の市販テスト

2 検証計画

①	研究授業・研究協議会の実施（小中合同全体研修，低・中・高ブロックから校内全体研修各1回）
②	児童生徒意識調査（小中一貫アンケート）の分析
③	「基礎・基本」定着状況調査質問紙の分析
④	全国学力・学習状況調査の分析
⑤	「標準学力調査」の分析
⑥	Q-Uの分析
⑦	国語科・算数科の市販テストにおいて到達得点以上の児童の割合が80%以上

3 校内研修計画

(1) 研究授業及び研究協議会等

月	研修内容
4月	○小中合同研修会（研究組織・今年度の取組等の確認，部会，分科会） ○ICT研修
5月	○全国学力・学習状況調査の実施 ○Q-Uの実施
6月	○第1回研究授業（中学校区） ○「基礎・基本」定着状況調査質問紙の実施 ○中学年部研究授業 学習指導案検討会 ○中学年部研究授業
7月	○1学期 小中一貫アンケートの実施及び分析
8月	○小中合同研修会 ○ICT研修
9月	○「基礎・基本」定着状況調査質問紙，全国学力・学習状況調査の結果分析 ○低学年部研究授業 学習指導案検討会 ○低学年部研究授業
10月	○第2回研究授業（中学校区） ○高学年部研究授業 学習指導案検討会 ○高学年部研究授業
11月	○Q-Uの実施
12月	○広地区クリーン活動 ○異文化間協働活動の実施 ○2学期 小中一貫アンケートの実施及び分析
1月	○カリキュラムの改善 ○第3回研究授業（中学校区）
2月	○小中合同研修会（まとめ）
3月	○取組のまとめと次年度の計画

※各ブロックの研究授業は，その都度時期を設定し実施する。

(2) 理論研修

授業改善に関わっての理論研修（授業スタイル，ICT研修，思考スキル等）

4 研究公開の予定について

公開予定日	令和3年 10月 2日（土）
タイプ	普及型・提案型 報告型
公開範囲	保護者，地域
公開内容等	呉市小中一貫教育

※ タイプについては，校内研修ハンドブック（広島県教育委員会 平成26年3月）を参照。